



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校
令和3年6月18日
第6号
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

よりよい授業をめざして

教員がよりよい授業づくりをめざして互いに授業を見合い議論する研修というのは、日本独自の文化で、実は今、海外からも注目されています。

磐梯二小でも、今年度は「共に考え、気づき、生かす力を伸ばす国語科の授業づくり～『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて～」をテーマに掲げ、授業力向上に励んでいます。

6月17日（水）は、その第1回の校内授業研究会があり、第4学年皆川教諭の授業を全員で参観しました。

『一つの花』を読み進めてきた子どもたちは、「作者はどうして『一つの花』という題名をつけたのだろうか」と課題意識をもち、それに対する自分の考えを真剣にノートに記しました。その後、全員で話し合いましたが、子どもたちから出てくる意見がどれもとても深いもので驚きました。「一つの花は、命とも考えることができ、お父さんから最後にもらったものだから・・・」と意見が続いた時には、感動すらおぼえました。そして、最後の振り返りでは、授業を通して変容した自分の考えがまとめられました。

このように、最初に自分の考えをもち、それをもとに対話しながら解決していくことで、最初と比べて広がりや深まりが見られるようになる。これが、新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」の大切なところです。この授業を通して得られた成果と課題を全教職員で共有し、二小全体で日々の授業をよりよいものにしていけるよう、これからも研修を充実させていきます。



ネット・SNS調査の結果から

学校や家庭での健全な教育環境づくりに役立て、誰もが安心して生活できることを目的とし、全県でネット・SNS利用に関する調査を行いました。下学年児童に関しては保護者の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。3年生以上は学校でアンケートをとりました。

校内のおもな結果については以下の通りです。

○ネットやSNSを利用している（44人）していない（8人）

○親と話し合いネットを利用するときのルールを決めている（35人）決めていない（9人）

ルールを守っている（25人）、守らないときもある（8人）、守っていない（2人）

○平日1日平均どのくらいの時間、ネットやSNSを利用しているか

1時間未満（17人）、1～2時間（17人）、2～3時間（5人）、3～4時間（4人）、4～5時間（1人）、5時間以上（0人）

○休日1日平均どのくらいの時間、ネットやSNSを利用しているか

1時間未満（10人）、1～2時間（10人）、2～3時間（7人）、3～4時間（11人）、4～5時間（1人）、5時間以上（5人）

○ネットやSNSを利用してトラブルがあった（3人）なかった（41人）

これからの時代を生き抜いていく子どもたちですので、ネット・SNSに対して一概に禁止するのではなく、上手に付き合っていく指導というものが大切であると思います。


しかし、誘惑に負けてなかなか自分をコントロールできていないお子さんもいるようです。ご家庭でも「なかなか言うことを聞かない」というご苦労がおりかもしれません。

この件に関しましては、家庭と学校との共通理解・連携が特に大切と考えます。学校では、防犯教室で警察の方からの話の中で取り上げていただくほか、夏休みを前にもう一度「ばんだいっこのルール」について確認していきます。ご家庭でも、ぜひこのルールを基に話し合う時間を設けていただければと思います。

ばんだいっこのルール

～「パソコン、スマホ、ゲーム、タブレット」とのつき合い方～

- 1 **家族や友達との会話を大切にしよう**
- 2 **家族のいるところでやろう**
- 3 **小学生は8時まで、中学生は9時までに終わろう**
- 4 **平日、休日ともに、1日最大2時間にしよう**
- 5 **ながら（食事、学習、歩行）メディアはやめよう**



平成30年12月3日 磐梯町メディア活用協議会決定

ちょっといい話 2

6月14日（月）登校時、落合地区登校班の班長さんが一人、ゴミ袋とトングを持って、ゴミ拾いをしながら登校していました。

聞くと、通学路にゴミが多かったことが気になっていたそうです。

確かに、5月25日（火）の地域クリーン活動でせっかくきれいにしたのに、その後ゴミが捨てられていると気になるものです。しかし、大人であってもなかなか行動に移すのは難しく、いつのまにか「しかたない」となってしまうがちです。そのような中で、気付いた時に行動に移したということが何より尊いと考えます。

衛生面の問題がありますので、登下校時にゴミを見つけても、素手の時に拾うことは求めなくてよいと思います。また、毎日の習慣にしてほしいというわけでもありません。「気になっていたからこの日に」と準備して実行に移したこの姿こそが立派だと思うのです。これを見た下級生の中に、「いつか自分も」と憧れが芽生えていたら嬉しいことです。



ちょっといい話 3



6月14日（月）の出勤時に花壇を見たところ、金曜日まであんなにきれいだった花壇が雑草だらけになっていました。この時期の雑草の生える勢いは驚くほどのものです。

磐梯二小では、「マイ花壇」と称して、自分のエリアを決めて世話していますが、登校時の見守りを終えてきて花壇を見ると、ランドセルを背負ったまま自分のエリアの雑草取りをしている児童がいました。自分から気付いて動いているということがすばらしいですし、それ以上に、「ちょっとした時間」を上手く使って習慣にしていることに感心しました。

登校時の雑草取りを始めたのは4年生の女子児童3人でした。しかし、今では、だいぶ広がりを見せています。おかげで、毎日きれいな花壇を見てみんな気持ちよく過ごすことができます。

二小の子どもは素直と誰からも言われますが、それは人に言われたことをきちんと行うという意味あいだけでなく、素直な心で自分から動き出すことができるという意味あいも感じています。